



玉川村立
玉川第一小学校

自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



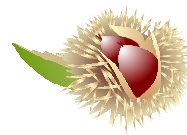
令和2年9月17日

No. 16

文責：校長 酒井

学校だより

玉一っ子通信



気づき・考え・実行する・継続する子どもたち

先週の金曜日（9／11）に、村内の園・小・中連携学力向上授業研究会が本校で行われました。それぞれの学校の代表者が授業を参観し、学力向上をテーマに意見交換を行うものですが、この日は本校の2年2組の学級活動の授業を提供しました。

テーマは「**やさいをたべた方がよいのはどうしてか？**」。2年生は夏休み前から、学年でミニトマトを栽培し、毎朝水やりを欠かさず行い、葉が増え、花が咲き、実がなる度に歓声を上げながら、観察日記に残し生長を楽しんできました。取り組みの成果でしょうか、野菜を食べられない子はほとんどいませんが、それでも好き嫌いがあります。今回の授業は、野菜を様々な方法で種類分けし、特徴を確認しながら、野菜を食べた方がよい理由について学びました。授業は、担任と栄養士と一緒に進めるTT（ティームティーチング）の形態です。多くの参観者をバックに、特段緊張もせず、**伸び伸びと授業に参加した2年2組の子どもたち**。グループ学習では、積極的な発言や多くのつぶやきがあり、授業は大変活発なものとなりました。

一昨年から力を入れて取り組んできた、JRC活動の発表も兼ねての授業公開でしたが、子どもたちが、自らの課題に**気づき**、**解決策を考え**、**実行**に移そうとする姿が、多く見られた授業でした。自分の思いをきちんと伝える、友だちの思いを最後まで聞く、更に、相談してよりよい考えに導くことは、全ての**学びに通じる大切な力**です。ですから、**学力向上には欠かせない力**となります。これらは最終的に本校の教育目標「**たくましい子ども**」を育成する源ともなります。学校全体で、今後もこの取り組みを**継続**させて行きます。

授業後の研究会では、参観された方々からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。



<気づき>



<考え>



<実行する>



<研究会では…>

いざという時のために!!

9月1日の災害の日を中心に全国のそこかしこで防災訓練が行われます。本校でも、7日（月）に台風を想定しての「**避難訓練**」と引き続いての「**引き渡し訓練**」を行いました。



当日は体育館への避難の後、校長から、九州で今こうしている間にも、台風の被害で家が流され行方不明になっている人がいること、大勢の人が避難していること、そしてその中には、**同じ小学生も大勢いる**だろうことを話しました。また、玉川村を襲った、今年の10月11～12日の災害についても触れました。校内での児童の生命の安全と健康を守ることは、学校の大きな役割の一つですが、今回の引き渡し訓練のように、**保護者様の協力がなければ達成できません**。本校の引き渡し訓練は今年度で、開始して8年目となりますが、毎回緊張感を持って行い、有事の際にはきっと役立つものと感じています。

今回の訓練、メール配信後30分以内には、ほとんどの児童の引き渡しが完了しました。情報の行き違いから、メール配信の前に駆けつけてしまった保護者様もいましたが、今後の課題とし、これからも児童の安全確保に努めたいと思います。

今後も宜しく願います。ご協力感謝いたします。



<体育館での引き渡しの様子から>

※18日（金）3・4年生が見学学習に出発します。（様子はホームページで配信予定です）